

行けばわかるさ

読書の小径

No.98

土岐市図書館 ☎ 1253

「大震災」



東日本大震災発生から3カ月、さまざまな関連図書が刊行されていますが、今回は報道写真集やドキュメントではなく、文学者による著作を紹介します。

長谷川權『震災歌集』。現代を代表する俳人が、地震から12日間の、やむにやまれぬ思いを、119の歌に詠みました。「かりそめに死者二万人などいふなかれ親あり子ありはらからあるを」「復旧とはけなげな言葉さはあれど喪ひしものつひに帰らず」「人々の嘆きみちみつるみちのくを心してゆけ桜前線」。短歌による震災直後の記録と記憶がここにあります。

川村湊『福島原発人災記―安全神話を騙った人々―』は、原子力に関しては全くの素人である文芸評論家が記した、事故後15日間の記録です。この震災で起こってしまった原発事故について、インターネットからの情報や過去の出版物を引用し、一夜漬けのにわか勉強により、現在の原子力推進派がどのような活動と発言を繰り返してきたかを糾弾した書です。

今回の震災からは離れますが、吉村昭『三陸海岸大津波』は、歴史小説の大家が、1970年に刊行した記録文学です。明治29年、昭和8年、35年の3度にわたる青森、岩手、宮城の三陸地方を襲った大津波の恐怖を、被災者の生々しい証言を基に描いています。人々に悲劇をもたらす大津波はどのようにやって来るのか。前兆、被害、救援の様子を再現していますが、少しも古びていません。

新刊紹介

| 書名 | 著者 |
|----------------|-------------------|
| 夏の日の思い出は心のゆりかご | 柳田 邦男 |
| 室町幕府論 | 早島 大祐 |
| ルポ認知症ケア最前線 | 佐藤 幹夫 |
| 江戸の食彩春夏秋冬 | 高橋千劔破 |
| 地球外生命体を探せ | NHK[サイエンスZERO]取材班 |
| 絵画をいかに味わうか | ヴィクトル I. ストイキツァ |
| 母と息子の老いじたく | ねじめ正一 |
| サトリ上・下 | ドン・ウィンズロウ |

図書館だより

ボランティアによる「絵本の読みきかせ会」を開いています。どうぞご参加ください。

日時 毎週土曜日 午後2時～(30分程度)

場所 図書館1階・児童書コーナー

▶7月2日は特別企画「七夕のつどい」です。

紙芝居をしたり、七夕飾りを作ったりします。

7月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑫ | 23 |
| 24 | ⑮ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

※○が休館日です

| 開館時間 | |
|-----------|-------------|
| 火～金曜日 | 10:00～19:00 |
| 土・日曜日、祝・休 | 10:00～17:00 |

※図書館のご利用は無料です